

# はやし 幹人 林もとひと県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 降ひょうで梨被害16億4600万円

# 林委員 被災農家に支援要望

## 梨畑へ防災網設置推進を

林幹人議員(成田市選出、4期)は県議会農林水産常任委員会の委員として、農業や水産業の振興に力を注いでいます。6月3日、県北西部を中心に降ったひょうで梨などの農作物が大きな被害を被りましたが、林県議は6月定例会議の農林水産常任委員会で、ひょうなどから農作物を守る防災網の導入を推進を提言し、被災した農家への丁寧な支援を県担当者に要望しました。農林水産常任委員会で林県議の質疑と県担当者の答弁を紹介します。



農林水産常任委員会で質問する林幹人委員

### 6月県議会農林水産常任委員会

副委員長 6月3日の降ひょう被害について、梨やキャベツ、ねぎなどを中心に被害が見込まれているとのことだが、特に最も被害を受けた梨は、本県を代表する農作物であり、その被害額が本県の農業産出額に及ぼす影響について気になるのであ

る。 今回の降ひょうによる梨の被害額は、本県の梨の産出額に照らすと、どの程度になるのか。 農林水産政策課長 6月8日の調査時点で本県の梨の被害額は、16億4600万円と見込まれていると

直近の令和2年の本県の梨産出額は87億円ですので2割程度に相当しています。令和2年は日照不足により不作でしたので、近年の平均的な梨の産出額を見ると概ね14.5億円前後となるので、これと比較すると1割程度となります。

林委員 私からもひょう害に関する質問をする。梨のひょう害対策として、多目的防災網が有効であると聞いている。今回の降ひょうの際にも、多目的防災網があったことで、被害を受けずに済んだという報告も受けており、今後も県内にひょう害が発生する可能性がある中で、本県の梨産地を守るためには、農家に対し、多目的防災網の導入を推進する必要があると改めて感じた。

そこでかがが、梨の多目的防災網の導入に対し、どのような支援をしていくのか。 生産振興課長 梨の多目的防災網の導入につきましては、国や県の既存の事業を対象として支援しているところ。今年度はすでに募集を締め切ったところですが、今回のひょう害の発生を受け、追加で要望調査を行う必要

と、対応を検討してまいります。 また、特に設置率の低い地域に対しては、有効性を周知して導入が進むよう、積極的に働きかけていきたいと考えております。

林委員 今回の被害が発生したことで、改めて防災意識が高まって、多目的防災網の導入を希望する農家が増えることも見込まれるので、農家からの要望に応えるため、予算をしっかりと確保するようお願いしたい。 また、過去に導入した多目的防災網の老朽化が進んでしまっ



ひょうに打たれ、黒く斑点が出来た梨の果実。本来の防災効果があるところがあるとも聞いている。日本一の産地を維持するためにも、支柱の補強と併せた張り替えの支援も検討をお願いしたい。

●県政や成田市のご相談・ご要望はお気軽にどうぞ 〒286-0134 成田市東和田569 なるげや陶器ビル3階D号 TEL.0476-20-0884 FAX.020-4622-9781 Eメール:motohito884@gmail.com

## 林もとひと 県議事務所

林もとひと県議・プロフィール	
略歴	
昭和48年9月	銚子市に生まれる
平成4年3月	銚子市立銚子高校卒業
平成8年3月	玉川大学文学部卒業
平成8年5月	米国ロードアイランド州語学留学
平成10年4月	州語学留学卒業
平成12年4月	入社 山崎拓秘書
平成15年4月	衆院議員・林幹雄秘書
平成19年4月	千葉県議会議員初当選
平成23年4月	千葉県議会議員再選
平成27年4月	千葉県議会議員3選
平成31年4月	千葉県議会議員4選
現職	
●県議会	農林水産常任委員会委員
●自民党	ちば青年局長

# 被害果実

# 食品加工で活用も 県、業者に働きかけ検討

**林委員** 今回の降ひょうにより、梨の果実に傷が出てしまつて、例年のように贈答品での販売が望めない、そもそも消費者に買ってもらえるのか不安と、販売について危惧する声が届いている。

そこで、かがうが、被害を受けた農家が少しでも多くの収入を得られるよう、県においても被害を受けた農産物の販売を支援すべきと思うがどうか。

**流通販売課長** 被害の大きかった梨については、現在生育途上であり、果実の大きさと直径3〜4センチ程度と聞いています。

今後、収穫までに幸水では1カ月、豊水では2カ月程度あることから、その生育状況を見守っていく必要があり、被災した農家を応援するため、生産者団体やJA、地元市など関係機関の意見を聞きながら、県が主催するイベントでの販

売支援や量販店等での取り扱いの協力要請、ポスターやのぼりなど農家が活用可能な販売資材の提供などの支援を検討してまいります。

また、被害果実への影響が大きく、廃棄する果実が多い場合は、食品加工業者へ加工活用について働きかけるなど、検討してまいります。

**林委員** 小さい果実の段階で傷ついてしまつと、更に傷が広がつてしまつたり、商品価値が著しく低下すると思われ、そういった中で、廃棄に対する支援も盛り込んでいただけるということを感じたい。

梨以外の被害を受けた農作物も含め、今後の対応について、地元の農家、農協、生産団体と良く連携し、丁寧な支援を行うよう要望する。

## 要望 実の段階で傷ついて

## 被災農家へ災害対策資金などで支援

**副委員長** これだけの被害だと、施設の復旧や、当面の資金繰りが必要となる農家が出てくると思われ、そのような農家に対して、どのように支援するのか。

**団体指導課長** これまで、令和元年の台風のような大きな災害が発生した場合には、施設復旧資金や、農業経営に必要な運転資金の融通を円滑にするため、無利子の「災害対策資金」に



梨畑を覆い、降ひょうなどに備える多目的防災網

副委員長 これだけの被害だと、施設の復旧や、当面の資金繰りが必要となる農家が出てくると思われ、そのような農家に対して、どのように支援するのか。

団体指導課長 これまで、令和元年の台風のような大きな災害が発生した場合には、施設復旧資金や、農業経営に必要な運転資金の融通を円滑にするため、無利子の「災害対策資金」に



降ひょうで葉に穴が開いたキャベツ

# 市民の願いを実現

## 歩道の中心に標識!? 要望を受け移設

県道79号横芝下総線沿いの歩道は通学路になっていますが、ご覧のように歩道のほぼ中心にカーブ注意の警戒標識が設置されていました。かねてから通学中の子どもたちが標識に激突すると心配の声があり、実際に

ぶつかって怪我をした子もいたそうです。

要望の結果、早速問題の標識を移設することができました。今後も地域の安心安全確保に努めます。

(林幹人)



歩道の真ん中にあった以前の交通標識



歩行者の安全のために交通標識が移設された



要望が実り、描き直された道路標識



消えかかっていた以前の道路標識

## 道路標識を修復

県道18号松崎線、八生小学校付近の横断歩道と、それを知らせるダイヤのマークが消えかかっていました。こちらも通学路となつており、子どもたちの安全な登下校を確保するため要望し、ご覧のように修復することができました。引き続き地域の要望に対応してまいります。

(林幹人)